

国内の動物園等における高病原性鳥インフルエンザ発生事例

平成22年度（2010年度）

富山県高岡市高岡古城公園動物園 施設管理者：高岡市

2010年12月にコブハクチョウの簡易検査陽性。遺伝子検査は H5 亜型陽性。コブハクチョウ合計10羽を殺処分。

山口県宇部市常盤公園（ときわ公園） 施設管理者：宇部市

2011年2月9日に簡易陰性確認。死亡したコクチョウ1羽から遺伝子検査で H5 亜型陽性。飼育していた白鳥類358羽と鴨類41羽を殺処分。

兵庫県加東市状ヶ池（じょうがいけ）公園 施設管理者：加東市

2011年2月11日にコブハクチョウ3羽のうち1羽が死亡。同日、遺伝子検査で H5 亜型を検出。殺処分等の結果は不明。

平成28年度（2016年度）

秋田県秋田市大森山動物園 施設管理者：秋田市

2016年11月15日に簡易検査陽性事例の発生。11月23日までに簡易検査陽性3件、陰性3件。確定検査では6例陽性。殺処分2個体。

愛知県名古屋市東山動物園 施設管理者：名古屋市

2016年12月6日に簡易検査陽性事例の発生。12月17日までに簡易検査陽性2件、陰性8件。確定検査では10例陽性。殺処分2個体。

京都府京都市京都競馬場 施設管理者：JRA

2016年12月22日に簡易検査陽性事例の発生。同日に簡易検査陽性1件、陰性6件。確定検査では7例陽性。殺処分38個体。

兵庫県伊丹市昆陽池公園 施設管理者：伊丹市

2017年1月13日に簡易検査陽性事例発生。1月18日までに簡易検査陽性14件、陰性0件。確定検査では1例陽性で残りは検査中。

平成23～27シーズン及び平成29年度以降は、動物園等において高病原性鳥フルの発生事例はなし。

野鳥及び家禽では、平成26～27、29～30シーズンに発生事例あり。